

愛労連

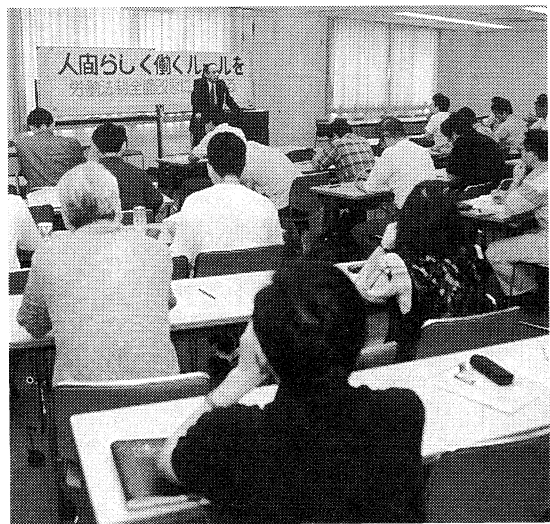
愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町8-18
労働会館第2ビル
TEL 052-871-5433
発行人 阿部 精六
7月号 1996年7月31日

愛労連第15回定期大会

- 第1日目 9月7日(土) AM 10:00から
中村区役所ホール
- 第2日目 9月8日(日) AM 10:00から
中村区役所ホール

人間カンバン方式＝労働法制改悪を許さず 人間らしく働くルールを確立しよう!



6月15日に、弁護士の坂本修さんを迎えて行われた労働法制改悪反対学習会には75名が参加。

近年、財界・政府・「連合」は一体となって規制緩和を猛烈に推進し、その総仕上げとして九七年に労働分野の規制緩和である労働法制の全面改悪を急ピッチですすめようとしています。こうした策動は、私たち労働者にとってどんな影響をあたえるのでしょうか。

財界・政府は、日経連の「新時代の『日本的経営』」にそって、労働者を三つのグループにふりわけようとしています。第一は、長期蓄積能力活用型で、企業戦士として活用する過労死もいとわぬ一部エリートグループ。第二は、第三は、それ以外の大多数のグループで、専門職も一般職も安い労働力、雇用調整弁として、有期・短期の不安定雇用で活用。とくに第三グループは、家事や出産などで、企業の戦力化

女子保護規定の廃止

こうした財界の労働力の有効活用戦略をすすめるうえで、労働基準法にある女子保護規定の廃止が重要です。つまり、女性労働者に対する時間外労働の制限、深夜・休日労働の禁止事項の撤廃です。財界・政府は

「自分の能力を認めてほしい」「男性と対等に扱ってほしい」という女性の当然の要求を逆手にとって、「母性保護は妊娠や出産に関する保護で十分だ。これらの女子保護は女性の能力を發揮し、男性と対等平等

に働くうえで「ジャマだ」と攻撃をかけてきています。注視しなければならぬのは、こうしたふれこみで「連合」が保護規定の撤廃を要求したことです。こう

財界・政府は、急増する不安定雇用に対し、人こころがしや使い捨てを全面自由化する「受け皿」までも周到に準備しています。人こころがしや使い捨てを全面自由化するために用意された三つの受け皿は…。

第一は、派遣事業の対象業務の拡大・自由化です。これは、実際の使用者が雇用責任を負わず、解雇を自由にし、派遣業者による賃金のピンハネを自由化するものです。また、人こころがしの自由化は、正規雇用労働者のリストラ「合理化」と一体で、いつ自分が不安定雇用になるかわからない不安を常にかかえることになりま

第二は、有料職業紹介事業の拡大です。これまで家政婦や看護婦、調理師など二十九職種を除き禁止されていたが、これを自由化し、労働者派遣事

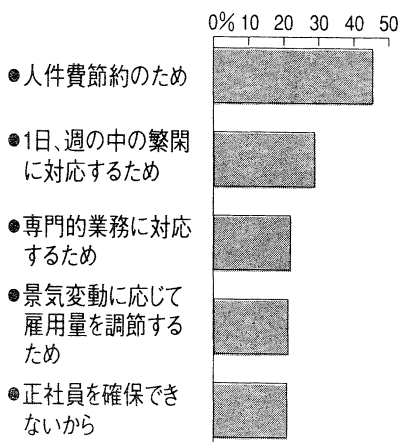
急増する不安定雇用

七月十四日、愛知地域労働組合きずな結成十五周年を祝う集いが生協文化会館ホールで開かれ、組合員や家族など約百二十名が参加しました。

愛労連からは坂崎副議長が「おめでとう！みなさんのいつその奮闘を期待します」とお祝いとお励みのあいさつをしまし

集いは、オープニングフルト、カレー、ポップ

非正社員を雇用する理由上位5 (複数回答、94年11月、労働者調べ)



要求実現と組織の飛躍めざして!

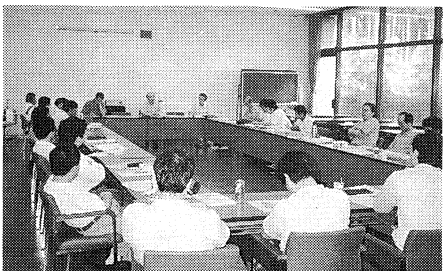
愛労連・第6回地域労働研究集会

はじめに、愛知労働問題研究所の大木先生より基調講演、愛労連千葉幹事から問題提起をおこなったあと地域労働が要求実現運動で大きな力を発揮していくうえでの地域労働の強化などについて討論されました。

「(単産として愛労連加盟で)地域労働へ加盟できない組合でも共同行動には積極的に参加してほしい」「組織拡大がすすまず、地域労働の後継者づくりもこの一、二年が勝負」「目先の課題に追われている感じ」「地域労働内の労働条件一覧表をつくってメリッ

コロンなど多くの出店がところ狭しと並んでにぎやか。のど自慢、ゲームやコンサートありの楽しい一日となりました。

「きずな」は、一人職場の組合員も少なくないため、仲間の交流の場として毎年このようなくみをおこなっています。今年、十五周年を迎えた今年には特別に感慨深いものとなりました。



裁量労働みなし労働の導入

今でもサービス残業が横行しているのに、さらに拍車をかけるのが、裁量労働みなし労働時間制の対象業

務拡大です。残業してもカウントされずに不払いになり、残業代が削られ、際限のない長時間・過密労働が

こうした全面攻撃の準備は、職場では「地ならし」としてすすめておられ、職場でどのように現れているのか、職場の実態をつかみ、労働法制改悪の中身を学習し、たたかいを強める必要があります。

職場の実態を話しあい、改悪許さぬたたかいを職場から

富士山での米軍演習許すな!

静岡県民集会に一五〇〇人が参加

「富士での米軍演習を許すな」と七月七日、静岡県御殿場市の中央公園で「米七静岡県民集会」が千五百



沖繩に連帯してたたかう決意のみなざる集会に

米軍ヘリが校庭に不時着

日米地位協定のもと、くらしにひそむ危険

七月十六日午後零時二十分頃、東加茂郡下山村立下山小中学校の校庭に在日米海軍の対潜哨戒ヘリコプターS H-60が自衛隊小牧基地から米軍厚木基地への飛行中、エンジンオイル系統のトラブルで不時着。修理できず十八日、大型トレーラーで移送されました。幸

いにも同中学校の生徒や教職員にケガは無かったものの、その危険性が改めて露呈されました。愛知県平和委員会の調べでは、同機は十五日にも同じ油圧系統のトラブルで小牧空港に臨時着陸しており、十六日朝、米軍の救難機が修理をしていました

超え実演演習の東富士演習場への移転に反対し行われたものです。政府が、東富士を含む全国五カ所の演習場持回りでの移転するとの方針を決めたとの報道もあり、集会では移転計画の撤回と基地撤去を求める各階層からの発言



小銃の弾と思われる葉莢と不発弾が五発、ほんの数の間で見つかりました。沖繩の県道一〇四号線を封鎖して行う米軍実弾演習演習場付近です。これは、全国から三百四名が集まり六月三十日と七月一日にわたって行われた、基地闘争全国交流集会と沖繩米軍基地調

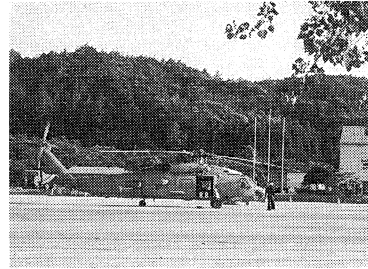
沖繩をもっと知り 沖繩のようになたかおう

愛労連副議長 坂崎 進

沖繩では水が乏しいため、どこでも高架水槽を設置していますが、その高架水槽に弾があたり、水が全部漏れてしまったことを平和委員会の方が話されました。米軍基地があるがために米兵の犯罪が多発し命が脅か

査のときのことです。弾一発が見つかったも社会問題となる「日本」の状況から見ると、道路脇に小銃の弾が散乱し放置されている実態に、米軍基地があるがための異常さをここでも感じます。され、爆音に勉強と家庭の団らんが脅かされ、戦後五十年たった今も沖繩県民の苦しみと引き換えに私たちのくらしがあると思うとき、沖繩の問題は国民共通の問題として大きいのしかかかってきま

に会場は大きな拍手につつまれ、参加者は集会後のデモ行進で市民にアピールしました。集会には、沖繩をはじめ、愛知からの五十八名の代表団、山梨、富山、三重などからも参加しました。



が、この修理が不完全だったとの疑いも出ています。また、米軍は自衛隊基地だけでなく民間空港などへの出入りを認めた日米地位協定を根拠に無料で自由に使用しており、名古屋空港

今年四月、名窯コンクリート(株)は輸送部門である名窯運輸を閉鎖して全員解雇を強行しました。この背景には、名窯コンクリート(株)の一〇〇%出資企業であるセメント業界大手の一つである住友大阪セメントのリストラ「合理化」を口実とした組合つぶしがあります。名窯コンクリートは、経営が成り立たない運賃

④ 愛知の争議 勝利に向かおう

運輸一般名窯争議団

には給油などで海軍のヘリが着陸しています。航空自衛隊小牧基地によれば、こうした際の燃料は自衛隊負

を一方的に押し付け、十月十三日に「運賃引き下げに名窯運輸が応じない」との理由で、四月一日以降運搬契約を破棄すると通告し、名窯運輸を閉鎖に追い込みました。しかし、一方で別の輸送業界の運輸一般つぶしはねかえし生コン産業の民主化へ

業界の運輸一般つぶしはねかえし 生コン産業の民主化へ

会社を入れて営業継続しています。この間、組合は名窯コンクリートに対し、三十三年働いてきた労働者の雇用を保障せよと交渉する中で「低輸送コストと法的に耐えうる受け皿な



7月18日、支援共闘会議結成

運動の前進を確信に、さらに共同を広げよう

愛労連婦人協議会第7回総会

愛労連婦人協議会第七回総会が七月六日(土)午後一時三十分から労働会館本館で開催されました。討論では、核兵器廃絶・

沖繩・安保・葉書エイズ・住専問題など私たち国民の側の運動が前進してきていることや、住みよい名古屋働きがいのある職場の実現のためにも革新名古屋市政実現にむけて頑張るなどの決意がのべられました。来年の通常国会で審議されるであろう十年目に入った均等法を有効なものに「改正」と同時に、政府・財界がセットで出してきたいる労基法的女子保護規定の撤廃に反対

【新役員の紹介】

- 議長 駒田 富枝
- 副議長 小松 民子
- 事務局長 伊藤 佳子
- 大橋 路代



愛労連婦人協議会第7回総会

第10回日本高齢者大会の とりくみ強化を訴えます!

- 9月1日13時開会
- レインボーホール(名古屋市)
- 9月2日9時開会
- 蒲都市・三河三谷温泉

「保険あつて介護なし」といわれる介護保険や健保本人二割負担はじめ、医療・年金・福祉など社会保障総改悪の攻撃に対する国民的な反撃の高まりを示すうえでも重要な意味をもつ第十回日本高齢者大会が、目前の九月一日、二日に迫ってきています。しかし、大会の成功を保障する参加確認は遅れており、とりわけ労働者の参加確認が不十分な状況となっています。「高齢者の問題、現役の労働者にはピントこない」という意見も多く聞かれますが、年金にしても、老親の介護にしても直接的な負担、影響を受けるのは現在の高齢者よりも、いま現役の世代に大きいのしかかってくる問題です。最後の最後ががんばろう!ではなく、いますぐとりくみを強めましょう。

愛労連事務局長 阿部 精六